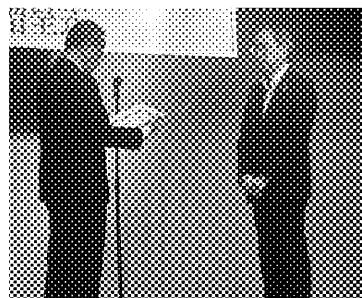


東武商事

埼玉県下水道局から感謝状

八潮の道路陥没事故復旧協力

東武商事（埼玉県松伏町、小林増雄社長）は、埼玉県下水道局が浦和コルソ（さいたま市浦和区）で開催した「八潮市道路陥没事故の対応にご協力いただいた団体等への感謝状贈呈式」で、感謝状を受け取った。贈呈式は1月に埼玉県



賞状を受け取る岡崎守
執行役員⑥

八潮市で発生した、流域下水道管の破損に起因する道路陥没事故の復旧にあたり、さまざまな協力や寄付をした企業や団体に感謝を伝えることが目的。同社は運営する水処理施設「松伏スマート・リサイクル・システムズ(MSRS)」(松伏町)において、下水道管の復旧工事の際に発生した汚泥を受け入れ、処理を行った。現在も続けている復旧作業には、引き続き協力する予定という。

MSRSの規模が大きく緊急時でも受け入れられるキャパシティーがあることや、立地的な観点から復旧作業に関わった。(川越)